

# 元気とやる気と根気で、 仕事に励み将来設計を叶えたい！

Real Voice



株式会社オンドマテック  
青森工場  
中村 海渡さん

私は、青森市で生まれ育ち、青森工業高等学校へ進学しました。高校卒業後の進路を決めるときには、迷わず地元就職を選びました。「なるべく早く親の近くに家庭を構える」という自分なりの将来設計を持っていて、それを叶えるためには、自宅から通える距離で勤めることが一番と考えたからです。

高校では、電子機械科に所属し、実習で旋盤などを学んでいたため、学んだことを活かせる会社を探しました。

入社したときは、「皆が元気で仕事をしている会社」という印象を持ちました。同じ高校、同じ部活出身の先輩がいたこともあり、仲間と楽しく仕事をさせてもらっています。

誘致企業とは意識せずに入社しましたが、岐阜県の本社工場に研修に行きました。本社にも青森県出身の先輩がいて、食事に連れていってもらったりしました。

いま任されている仕事は、生産と管理。不良製品を出さないよう機械と向き合う日々です。今はまだ小さな部品しか扱っていま

せんが、ゆくゆくは新製品の立ち上げまでできるようにしてほしいとされています。「自分が作った製品が世に出たときは本当に嬉しいんだ」という先輩の言葉を早く実感できるように、頑張っていきたいです。

働くようになってから行動範囲が広くなり、オフの時間も充実して過ごしています。夏はドライブ、冬はスノーボードに行くのが楽しみなのですが、青森はすぐに行動しやすい環境にあるのが魅力です。好きな地元に住み続けることができ、よかったと思っています。



# 地元に戻って、希望する仕事に つくことができました

Real Voice



サクサシステム  
エンジニアリング株式会社  
黒坂 愛さん

高校卒業後、地元である八戸市を離れて、情報システムの勉強をするために、はこだて未来大学へ進学しました。大学ではプログラミングやシステムの開発はもちろん、使う人の目線でプログラムを考えるために認知心理学も学びました。

地元には知り合いが多く、子供の頃から地域のお祭りに参加するなど、近所の人達との繋がりもあったので、それが恋しくて大学2年生の頃から「卒業後は八戸で働こう」と決めていました。

通信系の企業は首都圏に集中しているので、就活中に今の会社を見つけた時はピンとききました。実際に会社見学に参加したことで、社内の雰囲気や肌で感じましたし、ログハウス調のオフィスも働きたいと思ったポイントの一つです。

現在は研修期間中で、様々な業務を体験しながら仕事の流れを覚えている真っ最中です。その中で日に日に知識が増えていくのが今の楽しみです。大学時代は何かを作る時はプログラムを書くだけでしたが、会社

ではプログラムの前に「どの人のためにどんなものを作るのか」という入念な前段階があることを知りました。その段階を経て、自分が作ったプログラムが動作すると感動します。将来的には電話機の通信技術を深く学んで、その分野のプロフェッショナルになればいいと思います。

東京に就職した一人暮らしの友人と会話をした時に感じるのですが、家に帰れば家族がいてホッと気を休められるのも地元で働く良さの一つだと思います。帰ってきたことで祖母も喜んでくれていますし、大好きな八戸で働けるのは嬉しいです。

